



Futtsu

議会だより

No.141 平成19年5月11日
Spring 2007

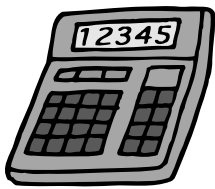
発行／千葉県富津市議会
編集／千葉県富津市議会 議会広報委員会
〒293-8506 千葉県富津市下飯野2443
Tel. 0439-80-1331 Fax. 0439-80-1350



今年の市内小学校新入生は、男子202人、女子170人の計372人でした。写真上は環南小3人、下は関豊小2人の新入生。



19年度予算審査	2・3P
3月定例会の内容	4・5P
代表質問(3会派)	6～8P
個人質問(4名)	9・10P
富津市議会全員協議会	11P
企業誘致の現状・定例会日程	12P



議会中に設置された予算審査特別委員会（10名）において、平成19年度予算の審査を行いました。予算委員会では、2日間にわたり、予算案で示された個別事業の内容や金額の算出根拠などについての質問から、将来の施策展開や市政運営の考え方のような総論的な質問まで、幅広い質問を行い、予算の妥当性について審査を行いました。

審査の結果、一般会計（161億4200万円）と3つの特別会計（133億8632万2千円）、2つの企業会計（23億7890万5千円）を合わせた総額319億722万7千円の予算案が可決になりました。

審査のなかで質問のあった項目や、平成19年度の事業のうち、主なものをここで紹介します。

（委員長 平野 隆司）

福祉のこと



保育所の民間移管事業について

平成18年度に民間移管した青堀保育所の費用的な効果と、今後の民間移管の計画について質問がありました。

費用的には約2,300万円の削減が図られ、今後は平成21年度に飯野保育所、平成23年度に中央保育所を民間移管する計画で進めているという回答でした。

乳幼児医療費助成事業について（3,560万円）

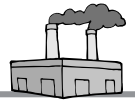
出生から3歳未満の入院・通院と3歳から小学校就学前の幼児の入院にかかる医療費のうち、保険診療による治療費の一部負担金を助成する事業です。

近隣市では実施している小学校就学前の幼児の通院の助成が富津市では受けられません。近隣市並みに助成できるよう要望がありました。

君津中央病院の負担金（3億459万円）

君津中央病院は富津市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市の4市で運営費の負担をしています。今年度の富津市の負担金として約3億円（4市総額：17億円）が予算計上されました。

環境のこと



残土埋立による諸問題について

富津地区（山王周辺）から拡大した農地の小規模埋立の連鎖により、広大な農地が残土埋立されています。これにより地域排水の問題や土壌保全の問題など多くの問題が発生してきました。執行部の対策の考え方や、条例による規制などについて議論されました。

かずさクリーンシステムへの廃棄物処理委託（5億2,237万円）

富津市の可燃ごみは木更津市にある"かずさクリーンシステム"で焼却処理されています。今年度の富津市の委託費用として約5億2千万円が予算計上されました。

道路とまちづくりのこと



まちづくり交付金事業

（2億6,057万円）

青堀駅周辺の歴史・文化などの特性を活かし、地域住民の生活の向上と活性化を図るために、道路を主体としたまちづくり事業が進められます。今年度は道路整備事業のほか、史跡案内板の設置や古墳群マップの作成、古墳案内人育成支援事業などが実施される予定です。

道路維持事業（6,988万円）

議会からの要望が強かった道路維持事業について、予算の拡大措置がされました。

防災のこと



消防自動車等の整備事業

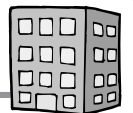
（3,804万円）

消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車1台、小型動力ポンプ1台の購入費用として予算計上されました。車両やポンプの老朽化が進んだ消防団に配備される予定です。

住宅・建築物の耐震化について（1,568万円）

住宅の耐震相談、木造住宅耐震診断委託、耐震改修促進計画策定業務委託、地震防災マップ作成業務委託といった地震に備えるための事業予算が計上されました。

市役所のこと



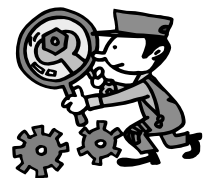
戸籍業務の電算化

（1,688万円）

平成19年度中の稼働を目標に戸籍の電算化業務が進められます。

市役所施設の設備保守点検等の委託について（4,352万円）

設備の保守点検等の委託先選定について質問がありました。業者決定は、3年ごとの指名競争入札により行い毎年委託契約を結んでいくという回答でした。



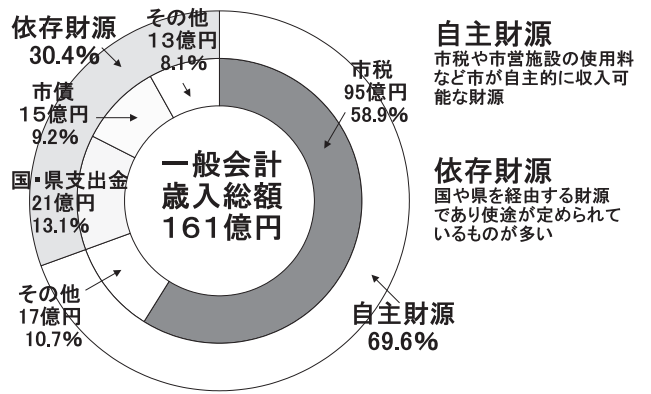


平成19年度の 予算を審査 しました。

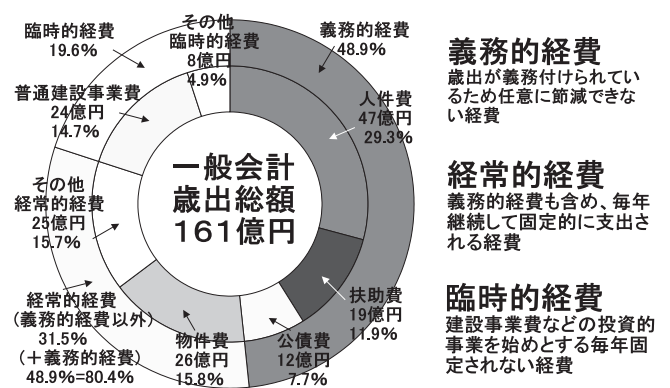
(単位：千円、%)

会計名	平成19年度	平成18年度	増減額	増減率
一般会計	16,142,000	15,446,846	695,154	4.5
特別会計				
国民健康保険事業特別会計	5,938,795	5,683,000	255,795	4.5
老人医療特別会計	4,245,408	4,323,515	-78,107	-1.8
介護保険事業特別会計	3,202,119	3,076,486	125,633	4.1
小計	13,386,322	13,083,001	303,321	2.3
水道事業会計	2,376,510	2,349,551	26,959	1.1
温泉供給事業特別会計	2,395	2,415	-20	-0.8
合計	31,907,227	30,881,813	1,025,414	3.3

歳入の財源別構成(一般会計)



歳出の性質別構成(一般会計)



産業振興のこと



有害鳥獣による農林作物への被害防止について(1,075万円)

近年被害が拡大しているイノシシ対策を始めとする有害鳥獣対策費として約1千万円が予算計上されました。(電気柵の設置や銃器・檻による駆除の他、イノシシ捕獲のための貸出用檻の購入事業など)

イノシシ被害の拡大を食い止めるための対策の強化と、予算措置について要望が多くありました。

特産物販売施設整備について

民間と連携しながら計画が進められている特産物販売施設整備について質問がありました。施設整備については民間で進めることや、浅間山周辺には農産物・加工品を主に、富津周辺には海産物・農産物・加工品を主にした施設で考えていること、事業主体を見つけることが難しいことなどの回答がありました。

企業誘致対策関係費について(599万円)

富津市に進出した企業に対する優遇措置として、納付した固定資産税相当の奨励金が進出後3年間支払われます。(平成19年度対象企業：1社)

教育のこと



小中学校の校舎耐震化事業

平成18年度に実施した、小中学校の校舎・体育館の耐震化優先度調査の結果に基づき、緊急性の高い校舎5校6棟(小学校4校4棟、中学校1校2棟：予算上は5棟分だが補正等で全てに対応する予定)について耐震診断が実施されます。

この結果を受けて、平成20年度に耐震設計、平成21年に耐震化が行われる予定です。

小中学校統廃合検討事業(20万円)

小中学校の適正配置等を検討するため予算計上されました。平成20年度までに統廃合の方針について決定される予定です。学校施設の耐震化事業と合わせて検討するよう要望がありました。

富津中学校校舎改築事業(10億9,985万円)

富津中学校校舎改築事業の平成19年度分予算です。平成18~20年度にかけて総額約21億円の校舎が建設されます。

複合施設の整備事業(919万円)

現在計画が進められている(仮称)福祉・教育施設(図書館と健康福祉総合支援センター)の施設整備基本計画策定業務委託等のための予算です。

3月定例会は、2月26日から3月27日までの30日間で開催されました。議案34件、陳情3件について審議を行い、最終日3月27日に全て審議が終了しましたので、その内容を報告致します。



● 「家庭奉仕員」が「ホームヘルパー」に名称が変更され、派遣手数料が変更になりました

家庭奉仕員

ホームヘルパー

階層区分	所得内容	1時間あたり手数料
A階層	生活保護世帯	0円
B階層	生計中心者が所得税非課税の世帯	0円
C階層	生計中心者が所得税10,000円以下の世帯	250円
D～G階層	生計中心者が所得税10,001円以上の世帯	291円



1時間あたり手数料
一律291円

手数料の額を比較した場合、所得階層区分により0円の生活保護世帯、所得税非課税世帯で291円、所得税10,000円以下の世帯で41円の増となりますが、世帯の状況で減免措置が設けられています。

● 国民健康保険事業補正予算

歳入歳出に8,061万1千円を追加し、合計60億9,513万円にするものです。主な内容は、歳入の国民健康保険税が社会保険加入者の増加、退職者への切替えによって6,791万6千円の減額とするものです。保険給付費は、4～12月実績から対前年比1.6%増の補正です。

● 3月定例会における発議案の審議結果は以下のとおりです

◆ 発議案	採決結果
富津市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
富津市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

● 3月定例会における陳情・意見書の審議結果は以下のとおりです

◇ JR内房線等における各種問題の改善を促す陳情書

- ①危険箇所の改善
- ②館山運転区廃止計画撤廃
- ③ちばDCの凍結



- ①JR東日本からの文書にて確認
- ②企業の経営内容に関与しない
- ③ちばDCについては賛成の立場



不採択

◇ 障害者の福祉・医療サービス利用料「応益（定率）負担」を見直すよう国へ意見書の提出を求める陳情書

この陳情は、「障害者自立支援法」に基づく福祉・医療サービス利用料の「応益（定率）負担」を見直すよう国に意見書を提出することを求めています。国は、補正予算で負担軽減に対応していることから、不採択となりました。



不採択

◇ 安心・安全の医療と看護の実現を求める陳情書

この陳情は、「国は、医療の緊急配置及び医療派遣のシステムの構築。医師の養成数の増加、医師と看護師の配置基準の引上げ、地域定着のための施策。」を求めています。わが地域の君津中央病院の医師・看護師不足の現状などを考慮し、全員賛成で採択となりました。

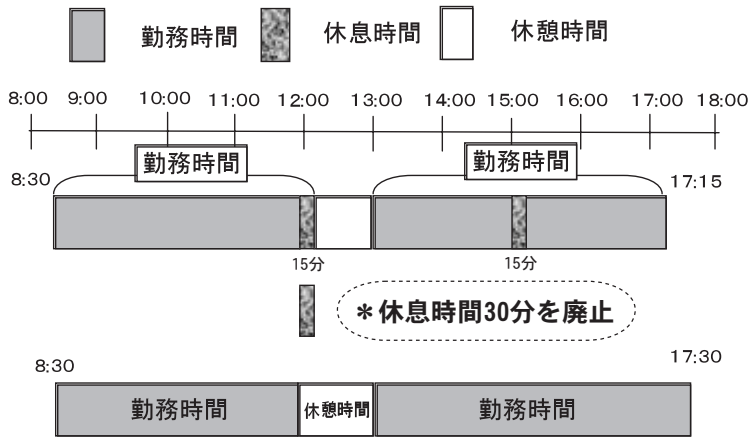


採 択

◆ 意見案	採決結果
安心・安全の医療と看護の実現を求める意見書について	原案可決

平成19年3月 定例会

● 職員の勤務時間が4月1日から変わりました



4月から人事院規則の改正に準じ、12時～12時15分及び15時～15時15分の有給の休憩時間を廃止し、12時～13時までが休憩時間となり、勤務時間を17時30分まで15分延長しました。

● 職員の手当が変わりました

人事院及び千葉県人事委員会の給与勧告に準じ、扶養手当額及び地域手当を改定しました

扶養手当

今までは、2人目まで6千円、3人目以降は5千円でしたが、今回の改正で一律6千円に上げる改正がされました。

地域手当

18年度は地域手当として、給料及び扶養手当の3%が支給されていましたが、平成19年度から4%に引き上げる改正がされました。これにより年間約2,140万円の予算増になります。

● 富津公民館青堀分館が廃止されました

青堀分館が公の施設として所期の目的を達したことから、施設が廃止されました。



廃止された青堀分館

● 富津市簡易宿泊施設が廃止されました

富津市簡易宿泊施設「富津岬荘」は昭和59年に千葉県から贈与取得し、平成18年4月1日から指定管理者制度による管理運営を行なっていましたが、施設の老朽化、公の施設としての所期の目的を達成したことから、施設の存廃を検討した結果、指定期間が終了した平成19年3月31日をもって公共施設としての位置付けを改めました。管理運営については、(有)みさきが建物の耐用年数内の平成24年3月まで行います。



富津岬荘

* 富津市議会には、現在3つの会派(賢政会、新世紀の会、正誠会)があります。この会派の代表として行う質問が、代表質問になります。代表質問の時間内(質疑・応答で120分)であれば、同じ会派の人が関連質問をすることもできます。

予算、農林水産の振興、市内幹線道路網計画について

問 一般会計予算の特色は。

市長 歳入では三位一体改革による税源移譲に係る個人市民税所得割の増額や富津中学校校舎改築事業にかかる安全・安心な学校づくり交付金による国庫支出金及び起債借入額の増額などによるものです。歳出では富津中学校校舎改築事業や道整備交付金事業により増額予算となりました。

問 第二次行財政改革推進実施計画の予算への反映は。

財政部長 他車との混乗で市営バスへの廃止、富津岬荘の普通財産への用途替え、そのほか諸経費、選挙事務の見直し、また報酬及び報償費の支給基準の見直し等により十九年度予算に反映させました。

問 農林水産の振興をどう図っていくのか。

市長 農林水産振興は生産基盤の創出と消費者に安心・安全な食料の提供、就業者の安全確保と高品質化による所得の向上を目指し、生活の安定を図る事業を実施いたします。

問 市内幹線道路網計画の推進の考えは。

市長 南北三路線の強化が必要であると位置づけています。神明山



賢政会
福原 敏夫
議員

地区の土地利用を見直し、庁舎周辺や青堀駅から大貫駅にかけて沿道利用を図ること、観光客の南下対策や地域住民の利便性の向上から都市計画道路北笹塚大貫線や国道465号、国道127号を有機的に接続することで幹線2号線を優先し新設及び既設道路の屈曲狹隘部の改良等を進めてまいりたい。

問 JRカード(スイカ)の利用機器を設置する考えはないか。

政策部長 確かにそういう不便を私自身も感じているところがございます。またJRの考え、市民の利便性について配慮していただくよう申し出をしたいと思っております。



利用性の向上としてJRカード(スイカ)利用機器設置が望まれる青堀駅

施政方針について 青少年がのびのび育つ まちづくりについて

問 特別支援教育の概要について。

教育長 特別支援教育とは、LD、ADHD、高機能自閉症を含めて障害ある児童生徒一人ひとりに適切な教育支援を行うものであり、学校教育法の改正を受けて、体制を整備していく予定です。

問 具体的な取り組みは。

教育長 特別支援教育連携協議会を設置し、啓発・あり方・特別支援計画作成・専門家チーム等の活用について協議していく。

問 就学前の特別支援の取組は。

福祉部長 市内知的障害者施設と連携して、障害児保育研修会で障害児に対する早期発見、早期対応している。小学校への引継ぎも個人情報に留意して対応している。

要望 障害の有無に関わらず、個人ニーズに合った教育ができるかがポイントであり、教育の原点、1人ひとりの指導計画を立てられるような体制を目指して頂きたい。

問 内裏塚古墳群の活用と保護について。

教育長 古墳群マップ(周遊ルート)の作成、史跡案内板を設置し、文化財のあるまちとしてアピールしながら、保護と活用に努めたい。

問 古墳群マップと周遊ルートの実用方法は。

教育部長 マップは各戸配布、公



賢政会
平野 明彦
議員

共施設、観光協会、駅等を考えている。周遊ルートには、昼食場所や商店の位置情報等、特色ある部分を記載し利用してもらおう。

問 経済環境部として、観光資源としての文化財の活用方法は。

経環部長 重要な観光資源の一つ。文化財を観光に活用するには、受け入れ体制の整備が必要。マップの活用には、教育部と連携して商工観光関係に働きかけ、地域づくりの理念の醸成を図りたい。

問 2・3・4方にこれだけの古墳があるのは珍しい。マップの拡大版を市役所ロビーに置いたり、ランチョンマットとして活用するのも方法ではないか? 植輪のオブジェを使って癒しスポットをつくり人を回遊させることで商店街の活性化につながるのでは。

経環部長 地域の個性を活かした商店街を目指したい。



内裏塚古墳群

平成十九年度の施政方針から10項目について質問いたしました

問 有害鳥獣対策について。

市長 千葉県が定める基本方針に基づき捕獲事業を実施。更に今後は、地域ぐるみで取り組む事を基本に捕獲機材などの整備を図るなど被害防止対策の強化に努める。

問 観光政策について。

市長 千葉県及び観光に係わる事業者、団体と連携し、受け入れ体制の整備、イベントの実施、県内外へのPR等総合的に推進する。

問 交通安全対策について。

市長 平成十八年度に富津小学校がモデル校の指定を受け自転車の安全教室を実施している。

問 消防本部庁舎整備について。

市長 消防庁舎の耐震性に問題が生じ、平成十九年度に本部庁舎の耐震補強調査を実施し、安心安全な消防庁舎の整備に取り組む。

問 災害時の避難誘導について。

市長 防災行政無線、車両広報等の呼びかけにより避難誘導をする。知・徳・体の調和がとれた人づくりを目指す教育の推進とは。

教育長 本市のまちづくりの柱の一つとして、学校教育において、

知として確かな学力、徳・体として、心豊かで、たくましい児童、生徒の育成に努める。



新世紀の会
鈴木 幹雄
議員

問 学校の施設整備について。

教育長 十八年度の優先度調査の結果に基づいて、優先度の高い施設から学校施設整備を推進する。

問 平成十九年度の重点施策とは。

市長 あえて申し上げるならば企業誘致、まちづくり事業、防災関係、学校施設整備、複合型施設、福祉等の諸施策である。

問 市長の行政運営について。

市長 形に残るもの、また、意識の変化として現れるものなどがある中、役所内での各部署間の連携を図り、誠心誠意努力する。

問 特色あるまちづくりとは。

市長 富津市の特性を活かし、いきいきとしたまちづくりに努める。



富津市消防本部庁舎

予算編成から見た、まちづくりと財政運営の中長期的展望

問 財政運営の将来展望は。

市長 少子高齢化の進展や、国の制度改正等が不透明であり、予測の難しい財政運営が続くと考える。

問 財政調整基金(市の貯金)を取り崩しての大変厳しい予算編成だが、執行部の見解は。

財政部長 これからの財政運営が非常に難しくなると考える。今後は、退職者増による人件費の減分を積み立てたり留保するような財政運営をすべきと考える。

問 今後の人件費の減少について具体的な試算はしているのか。

財政部長 5カ年の収支見込みの試算で行っているが、現状をベースにして定員管理計画に基づく職員数から算定している。

問 私の行った人件費の試算では、現在の組織を大きく変えない場合、15年後にようやく4〜6億円の削減ができそうな結果が出たが。

財政部長 前提条件の設定が他部署に關係してくるが、一度算定を行ってみたいと思う。

問 乳幼児医療費助成などの福祉施策や、道路整備や施設の耐震化・老朽化対策など、近隣他市と比べて遅れている部分がないか。

執行部の見解は。



新世紀の会
中後 淳
議員

市長 遅れているというようなところもあるかと思う。一つずつ対応するものと、総体的に対応するものがあるが、他市と並ぶ、あるいは越すような方策を検討していきたいと考えている。

問 社会福祉費を始めとする経常的経費がまだまだ増加傾向にあるなか、新規事業を進めていくには、財源を生み出すための具体的な経費削減施策の取組みを行って、歳出構造を変えることが必要では。

財政部長 経常経費を削減して財源を生み出すのは非常に困難な状況だと考えるが、それをしなければ将来的な市政運営ができないということになると思うので、なにができるか十分検討していきたい。



富津市役所全景

富津市役所周辺は、区画整理組合の解散もあり、市街化区域から調整区域に用途変更になりました。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
水道者（水道事業管理者）、政策部長（総合政策部長）

市長の政治姿勢について

問 市長就任後、3回目の予算編成だが、市長の目指した行政ができていくか。

市長 18年4月にスタートした「いきいき富津5か年プラン」でも私の考え方と整合を図っている。

問 幹線道路の整備が急務だと考える。君津市からの2路線が整備され、あとは富津市内の整備を残す状況だが、財政的に2路線同時進行は無理だと思うが、1路線は整備しなければ富津市の展望はないと考えるが、市長の考えは。

市長 本郷バイパスについては、県で君津大貫線の西大和田寄りの上飯野地区の未整備地点を先に整備することなので、その後になると思う。北笹塚大貫線については、県に要請しており、青堀駅東口1号線との連携も含めて県に要望している。

問 ただお願いますだけでは、なかなか整備が進まないのでは。ある程度は地元負担も考える必要があるのではと考えるが。

市長 地元期成同盟会にも応援いただき要望活動をしている。

問 計画給水区域内の給水されていない世帯数、整備完了の目標年度は。給水区域外の戸数は。

市長 湊・天神山地区の一部、竹岡・峰上地区の一部の地域において、対象世帯数は850世帯、うち現在水道加入されている世帯数は370世帯で、未給水世帯は480世帯。計



正誠会
小林 新一
議員

画完了目標年度は、平成25年ごろになると考えている。給水区域外の世帯数については約400世帯と考えている。

問 給水区域外についても解消しなければと考える。特に公的施設例えば環南小学校や市民の森、キャンプ場などがあり、市内外から多くの人が見られる。こういう地域についてはなんらかの方法を持って整備すべきと考えるが。

水道者 小規模簡易水道を整備し、将来的に上水道を持つていき、直接給水するなどということも考えていかなければならないと考える。

問 全市民が同じ水道水の下で安全な生活ができる行政をすべきだが、水道事業会計だけでは難しいと考える。一般財源投入ということになると思うが、市長の考えは？

市長 一般会計を投入するとすれば、どのようなやり方があるか、その辺も広く考えなければいけない。



富津市水道部

企業立地の推進について

問 企業立地の推進について、奨励金以外の企業誘致の手法は。

市長 企業訪問や事務手続きの迅速化など。

問 その他、もっと積極的に取り組めるようなことは。

政策部長 企業訪問については、県の企業庁等と同行している。その中で、アクアラインや船舶によるアクセス、輸送手段の利便性の優位性、住環境の充実もしているという話をしている。その他に、ホームページで情報を提供している。

問 市長自らが営業マンとして出ていくこともしていただきたく思うが。

市長 必要なことだと認識している。

問 市内の観光資源である自然と海岸線は有効的に活用・PRされていないものがあると思うが、市長の考える海岸線の活用のイメージは。

市長 1年を通して、時期・人を問わず利用できることがよいのではないかと考える。

問 海岸線の活用の考え方として、手をつけられないそのまま活用を促進するのか、何かテーマを決めて整備をして活用していくのか、市長の考え方は。

市長 できれば海岸線を道路が通ればと考える。規制や土地利用の



正誠会
大野 裕二
議員

関係から難しいところもあるが、連続した道路によって海岸線が結ばれれば非常に大きなポイントになると考える。

問 自然の地形を活かした整備を進める必要があると考える。レジャー・スポーツをPRしていくことで遊びにくる人が増えるのではないかと考えるが。

市長 漁業者との連携・理解が必要になってくるが、ルールやマナーを遵守しない方もいるため、その辺の周知などを調整する必要がある。

問 館山道的全線開通に伴う影響は。

市長 より短い時間で富津へ到達するので、有利になると考える。

要望 楽観視し過ぎていてのでは。もう少し厳しい見方をした中で全線開通の影響を考え、観光施策に反映する必要があると考える。有効的な取り組みを検討されたい。



新舞子から磯根崎を望んだ風景

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、または新設されたホームページ内で詳細をご覧下さい。

観光で必要なものは？ 携帯メールを防災に活用



藤川 正美
議員

問 一カ月が過ぎた「ちばデステイネーション・キャンペーン」の印象は。

経環部長 ちばDCの前半の入り込み数は、マザー牧場で6割、ザ・フィッシュユで3割、東京湾フリーで2割増し。今後の潮干狩りはかりめ祭り等に期待している。

問 夏に館山道の全線開通が予定されている。富津の観光の真価が問われる状況になるが、今後の市の観光発展のために、何が必要だと考えているか。

経環部長 ハード面では、観光関連施設の整備や観光資源のPR活動の推進。ソフト面では、観光協会の将来を担う若手の育成、事業者・観光協会のホームページの充実、観光協会・商工会・企業等の協働体制づくりの強化などが必要だと考えている。

問 現状の防災行政無線の問題点は、**総務部長** まず聞きづらいことが多いというのが一番大きな問題。

問 現在の固定局・戸別受信機の設置数と各単価は。

総務部長 子局が157局で単価は約270万円。戸別受信機が416基で単価は約5万円弱となっている。

問 市内の携帯電話の普及率は。

総務部長 正確には分からないが、全国平均では内閣府、総務省の調査では90%弱。市内の、ある職員が自分の住む80戸の集落で調べた結果は97.5%だった。

問 防災行政無線は本当に聞きづらいという声が非常にある。それを補完する意味から携帯電話メールを活用してはどうか。袖ヶ浦市は去年の4月15日に導入し、登録者千七百人。館山市は去年の8月1日に導入、登録者三千三十人。木更津市が今年の3月1日に導入、3月6日現在の登録者は千八十一人。年間経費は60万円。各市の担当者に聞いたところ、大変に喜ばれているとのことだった。このシステムがあれば、他の地から市内の親の安否を心配することもできる。

総務部長 導入を検討していきたい。



市内157カ所に設置されている
防災行政無線の子局

羽田空港再拡張事業に係る諸問題、都市計画



三平 正昭
議員

問 羽田空港再拡張事業に係る諸問題の市としての対応について。

市長 昨年12月20日に国、千葉県、警察、富津、君津、木更津、袖ヶ浦、市原市の関係5市及びJ.V並びに山砂関連協議会をメンバーとして、「羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会」が正式に発足したことを受けて、本年1月1日付けで市内に「羽田再拡張事業に係る諸問題連絡会」を立ち上げたところだ。

問 市内の山砂採取場所、搬出量運搬ルートについて。

建設部長 採取場所は、田倉地区と浅間山周辺が予定されており、搬出量は、未確定です。運搬ルートは、羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会の中で検討している。

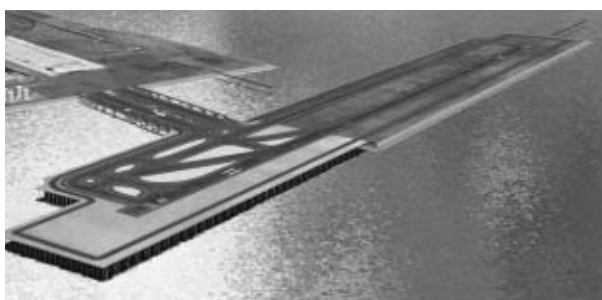
問 都市計画区域等の見直しについて。

市長 山王土地区画整理事業の現状と今後につきましては、地価の低迷等による事業の採算性から、事業に着手されないまま組合全体協議会において組合解散の方針が出されているところであり、解散手続きに先立ち、現在、債務処理の解決に取り組んでいるところである。また、当地区の土地利用について、現在の地価の動向や土地需要を踏まえた整備手法を地権者

とともに検討していきたいと考えている。

問 下水道計画の見直しについて。
市長 山王の土地利用の方針が明らかになった状況において、これらを踏まえて全体計画及び事業認可計画の変更について広域下水道組合と協議していきます。

問 都市施設の整備について。
市長 都市計画道路については、まちづくり交付金事業、電源立地地域対策交付金事業で実施しているところだが、引き続き交付金事業を活用し、富津市幹線道路網計画に基づき整備を図っていききたいと考えている。



羽田空港D滑走路完成予想図

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。政策部長(総合政策部長)、福祉部長(市民福祉部長)、経環部長(経済環境部長)

市長の施政方針 福祉施策をどう進めるのか



岩崎 二郎
議員

問 平成十九年度は、市民にとつては、平成十八年度につづいて定率減税の廃止に伴う大増税が行なわれ、市にとつては、個人住民税の増収(約2億5千万円)になります。このような状況の中で、市の本来の役割である福祉施策をどう進めていくのか。

市長 財政の収支の状況を見ながら、なを優先的に実施すべきかよく検討し、市民の税負担とバランスの取れた福祉施策の展開を図って行く。

問 富津市でも少子高齢化が急速に進んでいる中で、乳幼児医療費助成を小学校就学前まで、なぜできないのか。

市長 この助成制度は、千葉県の補助事業(県が2分の1負担)であります。県は、平成十九年十月から通院の助成対象を1才拡大し、4才未満まで対象とするので市としても同様に拡大したい。

問 市の保育料徴収規定によると保育料は所得税の税額によって決まる部分があります。定率減税の廃止によって、所得税が増え保育料が上がる場合があるが、その対応は考えているのか。

福祉部長 市は、国の徴収基準を

軽減して基準を定めているので、今のところ考えていない。

問 国保事業で、高くても払いきれない国保税の滞納者には資格証明書・短期被保険者証を渡しているが、その最近の数字は。

福祉部長 十八年十二月末現在で、資格証明書537世帯、短期被保険者証731世帯。

問 この数字は、富津市の国保加入世帯11,721の1割を超えています。中には子供のいる母子家庭、乳幼児世帯もあると思うが正規の保険証を渡すことはできないか。

福祉部長 特に事情のある場合は個別に対応したい。



今年の保育所・保育園の新園児は110人でした

市長の施政方針から、まちづくりの取り組みについて



岩本 朗
議員

問 赤字バス路線についての補助について、今後の取り組みは。

市長 平成十八年度市の補助負担額は二千五百万円となっています。バス交通の確保は市民の交通便利性の確保等の為、単に投資効果だけでは計れない面もあり、現状の運行路線を維持しながら、引き続き効率的な運行方策を検討して行きたいと考えている。

問 地震ハザードマップについて。
市長 作成の目的は、今後発生のおそれがある地震による建物被害等の可能性を市民に伝えることにより、注意の喚起、防災意識の高揚と耐震化促進の啓発を図ることを

目的に平成十九年度末までに作成する予定である。

問 防災関係のハザードマップ完成時期については。

総務部長 富津市で考えているハザードマップは、地震、洪水、高潮である。洪水、高潮等については、補助事業となり得るもので、一緒にやろうかというふうに考えている。

現在、県ともいろいろ調整しているが、二十年ないし二十一年という形で現時点では決まっていない。
問 生ごみ処理機補助台数についての今後の取り組みについて。

経環部長 市の生ごみの減量化・再資源化について、生ごみ処理機は有効な手段であると考えている。PRについては、広報等で市民にわかりやすい内容で行っていきたいと考えている。

問 生ごみ処理機の効果について
経環部長 助成金で購入している処理機の成果は、おおむね年間一万六千トン程度、その一・五%から三%ぐらいある。



市民の足として必要な市内循環バス

富津市議会 全員協議会の報告

羽田空港再拡張事業について

三月十二日に国と

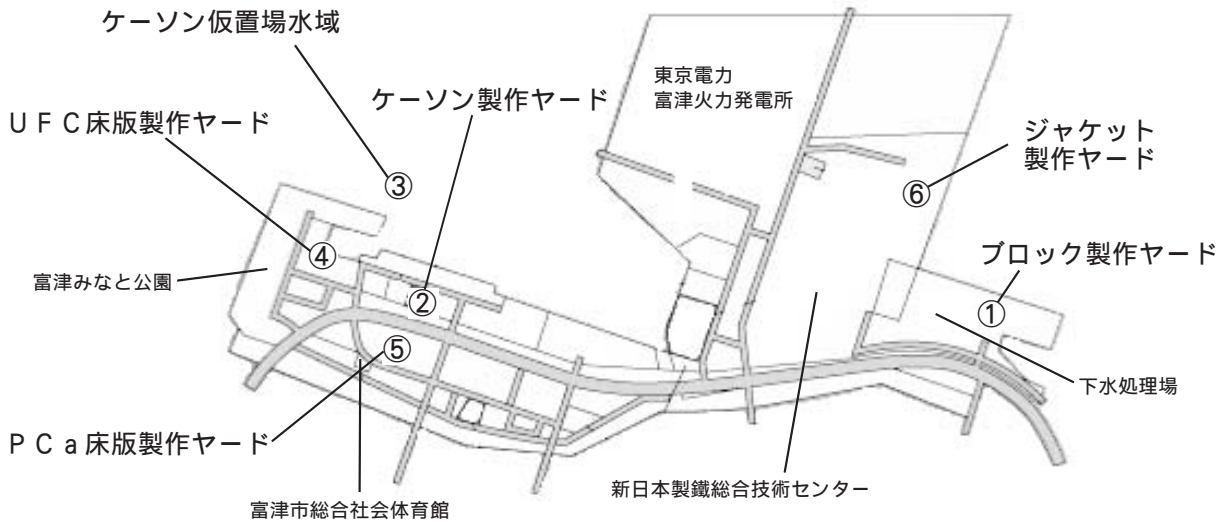
漁協連合会との調印が済み、羽田空港の拡張工事が開始される事となりました。

富津市の関連として
 (1) 山砂運搬採集場2地区(田倉・浅間山)が予定され、搬出経路(往路)としては小糸経由と国道127号経由で搬出します。

また、復路は127号経由、一部市役所前を通り採集場に入る予定です。

(2) 羽田空港滑走路建設外工事として、新富地区に6箇所の製作ヤードが設置され、4〜500人の作業員が配置される予定です。

ダンプカーの増加に伴う諸問題、作業員の宿舎を富津市に誘致できないか等の質疑提案が行われました。



学校施設の耐震化について

校舎の耐震化優先度調査結果

学 校 名	建築年	優先度 ランク	耐震化 優先度
天羽中学校 特別教室棟	S43	I - ③	1
佐貫小学校 普通教室棟	S46	I - ③	2
天羽中学校 普通教室棟	S43	II - ①	3
青堀小学校 特別教室棟	S50	II - ①	4
天神山小学校 教室棟	S48	II - ①	5
飯野小学校 特別教室棟	S49	II - ②	6
飯野小学校 普通教室棟	S48	III - ①	7
青堀小学校 普通教室棟	S50	III - ①	8
富津小学校 特別教室棟	S52	III - ①	9
天羽東中学校 教室棟	S53	III - ①	10
湊小学校 特別教室棟	S51	III - ②	11
湊小学校 普通教室棟	S51	III - ②	12
佐貫中学校 教室棟	S51	III - ②	13
竹岡小学校 特別教室棟	S48	IV - ①	14
竹岡小学校 普通教室棟	S48	IV - ①	15
金谷小学校 普通教室棟	S50	IV - ①	16
佐貫小学校 特別教室棟	S47	IV - ②	17
大貫小学校 普通教室棟	S48	IV - ②	18
大貫小学校 教室棟	S54	IV - ②	19
吉野小学校 普通教室棟	S54	IV - ②	20

学校施設の耐震化優先度調査の結果が報告されました。



天羽中学校全景

校舎については、優先度ランクがIIより高い優先度1〜6の6棟について、平成19年度に耐震診断を実施、その後、耐震設計、耐震化が図られる予定です。学校統廃合の問題も合わせた施設整備が検討されます。

体育館については、校舎の耐震化を優先して進めるため、その後の対応になる予定です。

体育館の耐震化優先度調査結果

学 校 名	建築年	優先度ランク	耐震化優先度
天羽中学校	S45	①	1
竹岡小学校	S55	②	2
環小学校	S54	②	3
吉野小学校	S51	②	4
環南小学校	S51	②	5
佐貫中学校	S54	②	6
青堀小学校	S47	③	7
大貫小学校	S52	③	8
佐貫小学校	S49	④	9
天羽東中学校	S47	④	10
湊小学校	S52	④	11
飯野小学校	S53	⑤	12

富津市に進出する企業 >>>

企業誘致対策特別委員会 会社訪問レポート

企業誘致対策特別委員会では、2月20・21日、富津市内の千葉県企業庁用地に進出予定3社の本社訪問をしました。各企業の業務内容、規模、及び印象などを報告します。
委員長／鈴木幹雄



◆東港金属株式会社

本社／東京都大田区京浜島
業種／金属リサイクル・産廃中間処理
資本金／1億円
*羽田空港に隣接する本社と第1・第2ヤードが手狭となったため富津に進出を決めた。7月末に富津工場を完成させ、年末から本格稼働を計画。当初は10名程度でスタートし、最終的には50名の従業員数になる予定。



◆住友重機械モダン株式会社

本社／神奈川県横浜市新吉田東
業種／プラスチック押出成形装置製作
資本金／2億円
*家庭で使われているラップ類、また牛乳パックなどで知られている耐水性のある容器。それらの資材を製造する装置を作っている会社。上の写真は、最終調整が終り出荷直前の装置類。



◆株式会社真正(しんせい)

本社／神奈川県海老名市門沢橋
業種／製缶・ポンプ部品関係
資本金／1千万円
*うちは「企業では無く家業です!」と富田社長。技術力を高め、その継承にも力を入れ、バブル後も順調に業績を伸ばしている。製造部品も大型化してきたために、海上輸送もできる富津のこの地を選んだ。写真右端が社長。

米軍・横田飛行場の現状を視察



首都圏第3空港については、複数の候補地が提案され、候補地選定が進められています。富津沖が最適地と考えていますが、石原東京都知事が横田飛行場の民間共用化を公約していることから、議員連盟として2月23日、現地視察を行いました。

今回は、富津市役所で開催



かずさ4市議会議長会主催の議員研修を2月13日、市役所大会議室で行いました。全国議事会（法制局主幹）の水出豊さんを講師に招き「地方自治法の改正に伴う諸問題について」の研修を受けました。



開通しました！ 市道・新田中線

しんでんなかせん

新田から中方面を見る

富津市の物流と観光を考慮し、JR大貫駅東口周辺の千種新田と、吉野地区の中方面を結ぶ市道新田中線が3月22日に開通しました。この道路が君津商業高校の野球場を横切ることから、代わりの野球場が近くに造られました。平成11年から、二工区に分け工事が進められ、今回の第二工区(310m)が終り、総延長734mが完成しました。総工費4億5,200万円。

新緑も目に映え、心も季節になりました。この四月、あちらこちらで地方議会議員選挙が行われました。地方議員の仕事とは、役割とは、市民の声とは、議員の発言が、行動が果たして市民の代弁となつていますか？それが試されています。と言う訳で、議会広報委員も1年が経ちました。少ないスペースですが今後も市民の皆さんに議会の活動を出来るだけ分かりやすく伝えるよう頑張っていきます。「今日までそして明日から」を口ずさみながらしろう



19日(火)	14日(木)	13日(水)	12日(火)	8日(金)	7日(木)	6日(水)	5日(火)	1日(金)	6月定例会日程予定
10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時	10時	議会傍聴に!
閉会	議案審議	委員長報告	委員会	委員会	予備日	一般質問	一般質問	開会	
				議案質疑				議案の上程	